

# 自己を見つめ、自己を耕し、子どもの自治力の育成を目指す

教育長 田中 弘美

令和5年度がスタートしました。コロナ禍により、制限されていた様々な教育活動を新たな視点で見つめ直し、活気に満ちた教育活動を推進して参りたいと考え、今年度は「歴史と伝統を創造的に継承しつつ、新たな教育活動の展開」を目指し、「学力・気力・体力」の三力がバランスよく教育活動に反映され、児童生徒自らが主体的に活動し、自治力の育成につなげていきたいと考えます。

2023年 流山市学校教育指導の指針  
学びに向かう力、共感する力を養い、自立（自律）する子どもを育む

「予測困難な時代」に対応できる資質・能力のより一層の育成を目指すために

①どのようにして学びに向かう力をつけるか。

②どのような経験や体験をすることで、自分で考え、判断し、行動できるか。

③どうすれば、相手の考えや置かれた立場を理解し、正しい行動につなげられるか。

の具現化のもと、教育活動の推進を図ります。

## <確かな学力>

- ・ICT機器を活用して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践や学習支援ソフトと校務支援ソフトの一元化によるきめ細かな指導の促進。
- ・読書活動を通して、表現力や読解力を養う。

## <豊かな心>

- ・子ども個々の理解を深める取り組みの実践のもと、支援体制の構築を図る。
- ・特別活動、総合的な学習の時間を利活用し、教科横断的な取組から、子どもの自治力の育成を図る。
- ・生徒指導アドバイザーや特別支援スーパーバイザーなど、専門的な分野や知見の人材活用を通し、児童生徒一人ひとりに寄り添った体制づくりに取り組む。

## <健やかな体>

- ・運動に親しむ習慣や工夫した取組を通して基礎体力の向上を図る。
- ・感染防止対策と教育活動の両立による安全教育の推進。（自助、公助、共助への意識）

## <つながりのある教育>

- ・地域学校協働本部やコミュニティ・スクールを活用し、地域連携を深める。
- ・サポート体制の構築や部活動の外部人材の活用を通して、教職員を支える教育環境の構築を図る。

新年度を迎え、子どもたち新たな出会いや取り組みを通して、自己の感性を磨き、活性化させいきます。それが、「自己を耕す」ことにつながっていくと思います。

学校においては、発達段階に応じ、一人ひとりの個性を伸ばしながら、有効な「自己の耕し」について、子どもたちに助言、指導してまいります。